

第 16 回アンケート結果 (抜粋)

1. 一般講演 3 : 「プロジェクト管理に於ける工程管理と知識登録方法に関して」

1. 工程の性質をどのくらい細かく捉えるのかによって、そこにあるであろう知識の獲得の深さは相関すると思いますが、コード行数・図書数など測れるもの（その変化）で性質の定義はどのくらいできるものでしょうか？

(回答)

もともとコード行数の変化や図書の改変回数の測定から工程の性質を捕えることは困難だと考えおり、作業パフォーマンスが変化する点を作業記録のトリガにして作業パフォーマンスの変化を記録することを考えています。そして作業の流れを可視化することを考えています。通常、紙の書いた数字やグラフを見て作業フォローを行います。パフォーマンス変化を基に作業フォローをするべきだと考えています。

2. 興味深いので、実証データが積み上がるのが楽しみです。

(回答)

人が出来ないと思うテーマこそ、挑戦する価値のあるテーマだと思います。

3. 進捗管理の自動化は、見積り計画の精度がインパクトを与えると感じました。私見ですが、進捗管理の自動化には無理があるとも感じました。

(回答)

進捗管理を行うには見積り精度が重要であることを前回の発表で説明しました。しかし、問題はプロジェクトが成功すれば良いわけで、成功するためのデータと知識を記録することが目的です。